

事務事業名	ふれあい生きいきサロン事業	事務事業No.	10601000010	所属課	高齢福祉課
<p>(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 家に閉じこもりがちな高齢者、要介護状態になる恐れのある高齢者等に対し、介護予防を目的に平成15年から開始され、岩瀬1会場、真壁5会場、大和2会場で実施していたが、令和3年度は岩瀬地区で休止となっていた1会場を再開した。令和5年度は新規として1会場の追加となった。</p>					
<p>(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 月1回の集いの場で仲間と交流ができて楽しく体操ができて良い。（利用者） 真壁地区においては、令和6年10月から交通問題が課題としてあがっていたため送迎利用を実施した。 岩瀬地区で1会場開設となった（委託先）</p>					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者の閉じこもり防止、生きがいつくりりに寄与することで、高齢者福祉の向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である この事業が介護予防に寄与し、地域社会で自立した生活を送ることができるようにすることは市の高齢者福祉の目標となっている。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 岩瀬・大和・真壁とそれぞれの地区で開催されているが、参加人数が減少している会場がある。積極的な周知により新規参加者を増やしているため、今後も継続して行っていく。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 定期的な事業開催により参加者の目的意識があるため、事業廃止は、高齢者福祉の衰退につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 会場の見直し、地区主体のサロンの実施、ボランティアの活用により事業費の見直しを行っており削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地区の公民館等で開催し、高齢者なら誰でも参加できるので、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

<p>(1) 1次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>		<p>(2) 全体総括（振り返り、反省点）</p> <p>身近な場所でのつながりづくり、また介護予防活動はとても重要な地域づくりである。参加者は増加傾向であるが今後も新規参加者を掘り起こすための運営管理の再検討や周知方法を検討し、高齢者の閉じこもり予防のために参加者増加を目指すことが課題となる。</p>																		
<p>(3) 今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>		<p>(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	成果	維持		○		低下			
成果	向上	コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	維持		○																	
	低下																			
<p>(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <p>地区の集会場や公民館等を利用してサロンを実施しているが、会場に行く手段である交通問題は解消できていない。新規立ち上げのため、開設になっていない地区の会場開設に向けて委託先と調整する。</p>		<p>(6) 事務事業優先度評価結果</p> <p>成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③</p>																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
<p>課長確認後の評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出</p>	<p>確認欄</p> <p><input type="checkbox"/></p>